

マイクロン、 クロックドライバ搭載の超高速 DDR5 メモリポートフォリオを発表 新潮流の AI PC の普及を加速

マイクロン初の CUDIMM／CSODIMM メモリソリューションは、
AI コンピューティングに求められるパフォーマンス向上に応える
DDR4 の 2 倍の最大 6,400MT/秒を実現

2024年10月15日、アイダホ州ボイシ発 - Micron Technology, Inc. (Nasdaq: MU)は本日、新しい製品ポートフォリオとなるクロックドライバ搭載メモリとして、Crucial® DDR5 クロックドライバ搭載CUDIMM(アンバッファードデュアルインラインメモリモジュール)／クロックドライバ搭載CSODIMM(スモールアウトラインデュアルメモリモジュール)の出荷開始を発表しました。これらのJEDEC規格に準拠したメモリソリューションは、実行速度で最大6,400MT/秒に達し、DDR4の2倍以上の速度*1、従来のクロックドライバ非搭載のDDR5よりも15%も高速化*2されています。これらのソリューションは、速度の安定性の向上、ダウンロードの高速化、およびリフレッシュレートの向上を実現し、次世代PC向けのメモリフォームファクタとして、新境地を開きます。マイクロンのCUDIMM／CSODIMMソリューションは、今年初めの[JEDECによる仕様の標準化](#)以降、JEDEC規格準拠のDDR5 CUDIMM／CSODIMMソリューションとして業界で初めて市場で提供されます。

さらに、インテルは、10月10日に発表したインテル® Core™ Ultraプロセッサ(シリーズ2)に対応するメモリとして、最大容量64ギガバイト(GB)を持つマイクロンDDR5 CUDIMM／CSODIMMソリューションの検証を完了しました。

マイクロンのコマーシャル製品グループ担当バイスプレジデント兼ジェネラル・マネージャーのディネッシュ・バハル(Dinesh Bahal)は「AIの普及が本格化する中、これまでにないシステム性能要件に対応させていくためにはメモリのパラダイムシフトが必要です。マイクロンは、AI PCやハイエンドのワークステーション向けに、業界初のJEDEC規格準拠の市販用DDR5 CUDIMM／CSODIMMソリューションを提供し、ユーザーが購入後高速かつ比類のない性能を発揮できるようにします。この新しいカテゴリーの製品を通じて、将来のAIワークロードを見据えた現行のデバイスを強化し、次世代メモリソリューションを活用したエコシステムを構築していきます」と述べています。

DDR5には高速なデータ転送という特長がありますが、大容量化(スケーリング)に課題があり、特に高帯域幅と大容量を組み合わせる場合、信頼性の高い高速動作や信号の完全性を確保しながらDDRのパフォーマンスを向上させることが困難でした。従来のUDIMMの進化形である新しいCUDIMMとCSODIMMは、メモリモジュールに直接クロックドライバを搭載することで速度を安定化させている点が特長です。現行のシステムのほとんどがCPUのクロックに依存していますが、マイクロンは革新的な技術を用いてクロックドライバ



をメモリモジュールに直接統合し、電氣的な課題を根本的に解決し、メモリのより一層の高速化と安定化を実現しています。

インテルがこれらの新しいクライアントメモリモジュールの検証を完了したことにより、大手PCメーカーやインテグレーターの間で、マイクロンの革新的なクロックドライバ搭載メモリを次世代PCプラットフォームに採用する動きが広がっています。特に、マイクロンはインテル® Core™ Ultraデスクトップ・プロセッサ向けに32ギガビットダイバースの64GB CUDIMM／CSODIMMソリューションを検証した初めてのメモリーベンダーです。これにより、高密度かつ高性能なメモリを求めるAI搭載のPCやハイエンド・ワークステーションのシステム容量を最大256GBまで拡張することが可能になります。

インテル コーポレーション メモリ&IOテクノロジー担当バイスプレジデント ディミトリオス・ジアカス氏 (Dimitrios Ziakas)は「マイクロンとインテルは、次世代のコンピューティング性能を持つ製品を市場に提供するために協力をしてきました。インテル® Core™ Ultra デスクトップ・プロセッサと、マイクロンのクロックドライバ搭載、最大64GB容量の最新型CUDIMM／CSODIMMの組み合わせは、大量のデータを処理するAI搭載の次世代PCが6,400MT/秒という速度を達成するうえで重要な役割を果たします。両社の戦略を合致させ、共同検証を行うことにより、最先端のメモリとCPUを顧客や市場に提供し、エコシステムでの将来を見据えたフォームファクタの採用を加速させています」と述べています。

6,400MT/秒のデータ転送速度を誇るCrucialのDDR5 CUDIMM／CSODIMMメモリはプラグアンドプレイで利用できるため、購入後すぐにAI PCやデータ負荷の大きいワークロードで高いパフォーマンスを発揮します。これは、DDR4システムからのアップグレードやDDR5パフォーマンスの強化の目的でも有効です。CUDIMMソリューションはデスクトップPCに、CSODIMMソリューションはノートPCに適しています。

CUDIMM／CSODIMMソリューションは、16GB製品の販売が開始され、製品には制限付永久保証が適用されます^{*3}。64GB製品は、2025年の上半期中の販売開始を予定しています。なお、日本での販売は未定です。

マイクロンは、DDRベースのCUDIMM／CSODIMMソリューションの追加により、AI PCを含む次世代PCの性能を強化し、データ負荷の増大が続くワークロードに対応するため、今後もフォームファクタやパフォーマンスの革新を通じてメモリポートフォリオを拡大していきます。

詳細については、マイクロンの[CUDIMM製品](#)と[CSODIMM製品](#)をご覧ください。

最新情報をチェック!

Micron ソーシャルチャンネル:

LinkedIn: <https://www.linkedin.com/company/micron-technology>

X (Twitter): <https://twitter.com/MicronTech>



Facebook: <https://www.facebook.com/MicronJPN/>

Crucial ソーシャルチャネル:

X (Twitter): <https://twitter.com/CrucialJapan>

Facebook: <https://www.facebook.com/crucialmemory>

Instagram: https://www.instagram.com/crucial_memory

YouTube: <https://www.youtube.com/@crucial8464/featured>

*1: DDR5 の 6,400MT/秒の速度は、DDR4 メモリとしての最大性能の速度に匹敵し、DDR4 の最大標準速度である 3,200MT/秒の 2 倍の相当にします。

*2: DDR5 を最大帯域幅 5600MT/秒で動作させた場合です。

*3: 制限付永久保証は、オーストリア、ベルギー、フランス、ドイツを除く各国で有効です(この 4 カ国では購入日から 10 年間保証が有効になります。)

Micron Technology, Inc.について

マイクロンは、情報活用のあり方を変革し、すべての人々の生活を豊かにするために、革新的なメモリおよびストレージソリューションを提供するリーディングカンパニーです。顧客第一主義を貫き、テクノロジーの最前線でリーダーシップを発揮し続け、洗練された製造技術と事業運営を妥協なく追求するマイクロンの製品ポートフォリオは、DRAM、NAND、NORの各種メモリからストレージ製品まで多岐にわたり、Micron®またはCrucial®のブランドを冠した高性能な製品を多数展開しています。マイクロンで生まれた数々のイノベーションは、データの活用を加速すると同時に、人工知能や5Gといった最先端分野の進歩の基盤として、データセンターからインテリジェントエッジ、さらにはクライアントコンピューターとモバイルをまたいだユーザーエクスペリエンスまで、さまざまな事業機会を新たに生み出し続けています。Micron Technology, Inc. (Nasdaq: MU)に関する詳細は、[micron.com](http://www.micron.com)をご覧ください。<http://www.micron.com/>

© 2024 Micron Technology, Inc. All rights reserved. 情報、製品および仕様は予告なく変更される場合があります。マイクロン、マイクロンのロゴ、およびその他のすべてのマイクロンの商標はMicron Technology, Inc.に帰属します。他のすべての商標はそれぞれの所有者に帰属します。